

目次

学院年史資料紹介・・・p1～p2
エントランス展示、ミニ展示ご案内・・・p3
WELL 遠足レポート・・・p3～p4

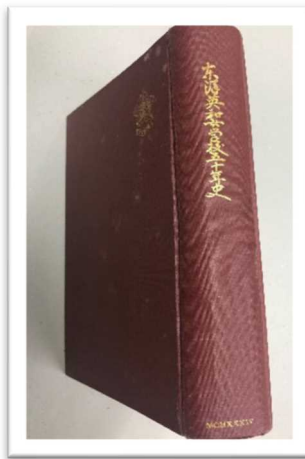
東洋英和女学院は今年学院創立 140 周年を迎えます。

これまでに学院が発行した貴重な年史資料のうち、おもなものをご紹介します。これらの年史資料は図書館の開架資料として公開しているもので、皆さんが実際に手に取って閲覧することや貸出しも可能です。是非この機会に東洋英和女学院の歴史に触れてみてください。

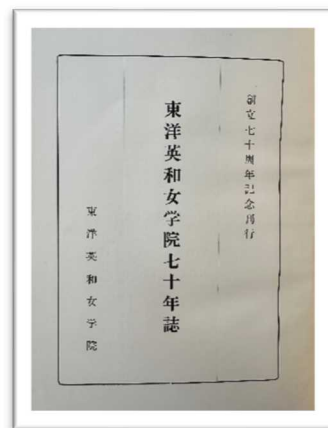
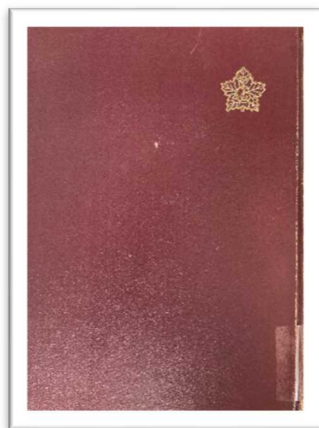
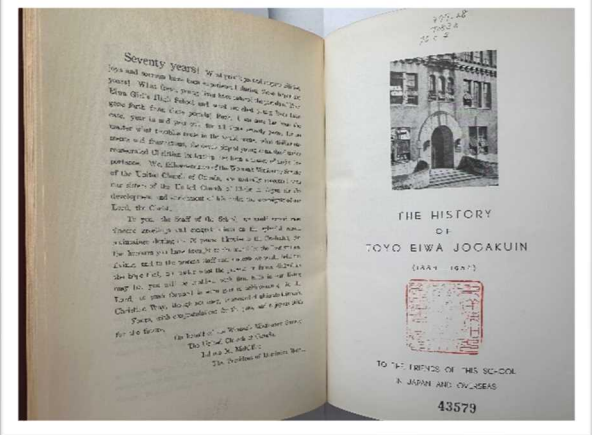
東洋英和女学校五十年史

ミス・カートメルにはじまるカナダ婦人宣教師が校長を務めた時代の、東洋英和の教育の原点を語る貴重な年史。卒業生の回想録も多数収録。編集委員には村岡花子、大江スミ、片山廣子などが名を連ねています。

1934 年 12 月発行 菊判 380 ページ



東洋英和女学院七十年誌



東洋英和女学院各部の歴史・現況とともに、多数の回想録で構成されています。短期大学の思い出など、戦後の東洋英和を知るよき手がかりとなっています。

1954 年 12 月発行 A5 判 234 ページ

エントランス展示

学院創立 140 周年に寄せて

図書館 1 階エントランスの展示ケースにて「かえでの園の彩り:学院創立 140 周年に寄せて」と題した展示を行っています。

東洋英和女学院は 1884 年(明治 17 年)に創立し、本年 11 月に 140 周年を迎えます。

本展示では、創立初期の歴史や人物を振り返る史料とともに、卒業生や教員から譲り受けた特別な資料をご紹介します。普段は貴重書庫にあって皆様の目に触れることのないものも展示していますので、この機会に是非ご覧ください。



ミニ展示ご案内



図書館のエントランスを入ってすぐ、カウンター前にミニ展示コーナーがあります。

図書館を楽しんでいただくための企画として、年に 2 回テーマを変えて展示しています。

2024 年度後期ミニ展示は「2024 Anniversary」です。

今年、東洋英和女学院は学院創立 140 周年を迎えます。ミニ展示では、この記念すべき 2024 年にアニバーサリーを迎える出来事や物について書かれた本を紹介しています。

キティちゃん、ライオンキングなど、皆さんが知っているキャラクターの本や DVD もあります。それぞれが何周年のアニバーサリーになるのかは、展示本のキャプション(見出し)をご覧ください。

気になる本がありましたら貸出もできます。ぜひお手に取ってみてください。

WELL 遠足レポート

残暑厳しい 9 月上旬、図書館サポーター“WELL”のメンバーで「夏の遠足」に行ってきました。今回の行き先は、印刷博物館と紀伊國屋書店新宿本店(店頭選書)です。

遠足に参加した WELL メンバーから体験レポートが届いていますのでご紹介いたします。

先日、WELL に入ってから初めての課外活動として、凸版印刷の印刷博物館と選書ツアーに行ってきました。まだ気温が高く、日差しも強かったので、メンバーの皆さんと日傘をさしてお話をしながら歩いたことが記憶に残っています。

印刷博物館では、太古から現在に至るまでの歴史や、印刷がどのように進化していったのかなどが詳細に書かれた展示がたくさんありました。

一番楽しかったのはコースター作りです。活版印刷の技術と自分で選んだ文字を使ってコースターに文字を刷り、自分だけのオリジナルコースターを作ることができます。私は不器用ですし、センスがある方だとは思っていないので、自分の名前を刷ることにしました。中には長めの文章を作り上げて刷っているメンバーの方もいらっしやっただけで、もし次の機会があれば、私も文章に挑戦してみようと思います。

選書ツアーは、紀伊國屋書店さんの新宿本店で行われました。実は選書ツアーに行くことを一番楽しみにしていたので、電車に乗っている間はワクワクが止まりませんでした。お店についてみれば、どこもかしこも本だらけ。選書中もたくさんの本に囲まれた最高の景色を見ることができ、とても幸せでした。

また、最後にポップについてのお話を聞く時間がありました。良いポップとはどういうものか、ポップの書き方、目を引くデザインはどんなものかなどなど、他では聞けないことを知れて、とてもためになりました。選書ツアーで選んだ本を使ってポップを書くことになっているので、このお話を参考に良いものを作りたいです。

今回の WELL の遠足では、普段 1 人では絶対に行かない場所へ行き、今までにないほど多くの知識を得ることができました。また次の機会があれば、是非参加したいです。

人間科学科 1 年 A.T.

WELL に入り、初めての遠足で印刷博物館と紀伊國屋書店新宿店に行きました。普段は博物館に行く機会が少ないのでとても楽しみでした。

印刷博物館では印刷の歴史が資料と共に展示されていました。どれも初めて見るものばかりでとても興味深かったです。

特に興味を惹かれた展示品はマイクロブックです。マイクロブックは最も小さい印刷本としてギネスに認定された本で実物がとても小さくて驚きました。また、実物と一緒に製本工程が書かれていて、とても細かくて人の手で作ったとは思えませんでした。

一番楽しかったのは活版印刷の体験です。体験ではコースターに文章を印刷しました。印刷するまでに様々な工程があり、特に活字を拾い並べる工程が想像以上に大変だと感じました。目の前にテープでガイドがついていたのにアルファベットの大きい文字と小さい文字を取り間違えてしまいました。次に活字を並べたあとに文章を中央にし、活字が動かないように隙間を埋める作業をしました。中央になるように丁度いいサイズを探すのが大変でした。初めての体験でとても楽しかったのですが、緊張で疲れてしまいました。

最後に紀伊國屋書店新宿店では選書をしました。選書では人に薦めたい本、読んでみたい本を各自で選ぶというもので初めての体験だったのでとても楽しかったです。今回の選んだ本が大学の図書館に入ってくるのが待ち遠しいです。また、他の人が選んだ本も読んでみたいです。

今回の遠足では沢山の貴重な体験ができ、とても勉強になりました。私は博物館などにはあまり行かないので有意義な時間を過ごすことが出来ました。次回の遠足も是非参加したいです。

人間科学科 1 年 I.O.

図書館だよりは図書館ウェブサイトからバックナンバーも見ることができます！

<https://sites.google.com/toyoeiwa.ac.jp/library/kankou/toshokandayori>

(編集担当:反田)

